

2022年度 中間決算説明会

TOHAN

2022年11月28日

2022年度 単体中間決算

TOHAN

① 単体決算

② 連結決算

③ 計算書類

④ TOPICS

●店頭実売の減少・経費の高止まりにより減収減益

(百万円・%)

勘定科目	当中間期	前中間期	前年差額	前年比
売上高	178,673	199,498	▲20,824	89.5
売上総利益	20,434	22,214	▲1,780	91.9
販売費及び一般管理費	21,395	21,712	▲316	98.5
営業利益	▲961	502	▲1,463	-
経常利益	▲550	952	▲1,503	-
中間純利益	▲620	271	▲891	-

① 単体決算

② 連結決算

③ 計算書類

④ TOPICS

●減益要因①・・・コロナ特需の反動による売上減少

(百万円・%)

商品種別	送品 前年比	返品 前年比	返品率	前年同期 返品率	売上高	売上 前年比	売上 前年差
書籍	92.1	100.4	40.5	37.2	75,173	87.1	▲11,059
雑誌	92.5	92.9	48.7	48.5	52,612	92.1	▲4,455
コミック	90.6	99.2	25.0	22.9	24,747	88.0	▲3,356
マルチメディア	101.5	118.3	25.2	21.6	21,288	96.8	▲682
総合	92.9	97.8	40.2	38.1	173,822	89.8	▲19,553

【参考】2021年度の新規取引影響を除く前年比

商品種別	送品前年比 前年切替除く	返品前年比	返品率	前年同期 返品率	売上前年比 前年切替除く
書籍	98.6	100.4	40.5	39.8	97.5
雑誌	93.1	92.9	48.7	48.8	93.3
コミック	91.9	99.2	25.0	23.2	89.7
マルチメディア	102.2	118.3	25.2	21.8	97.7
総合	96.1	97.8	40.2	39.5	95.0

(%)

市況の推移

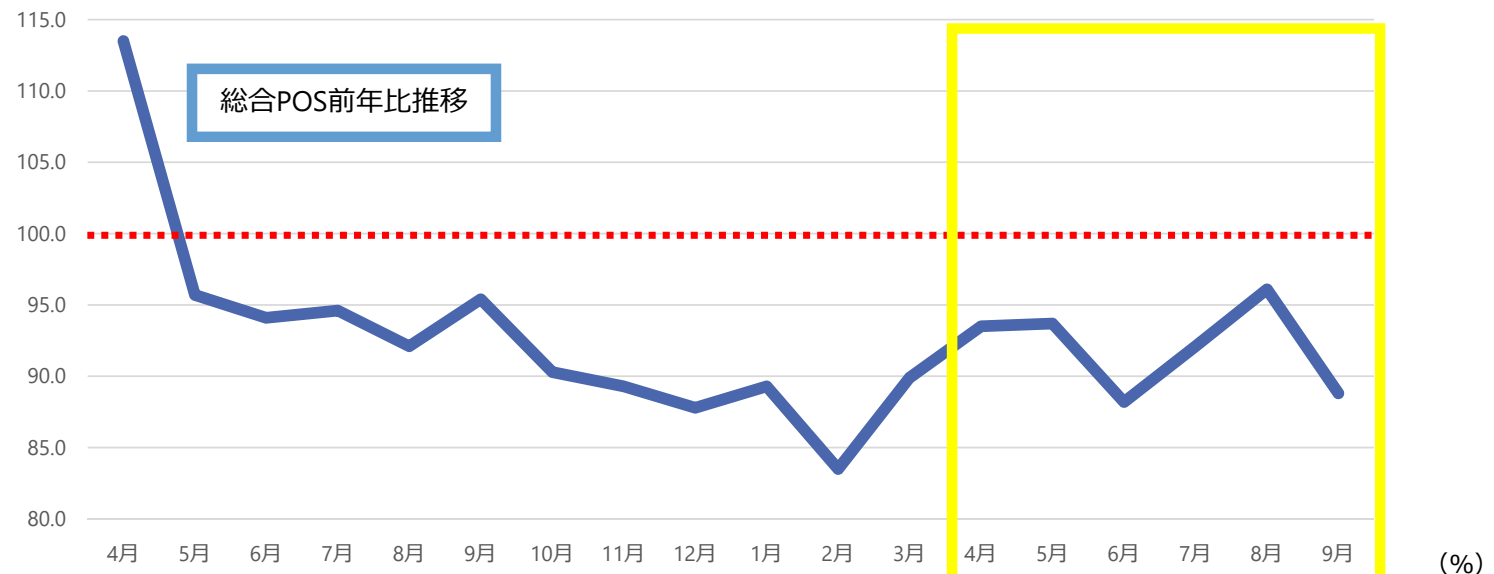
4

① 単体決算

② 連結決算

③ 計算書類

④ TOPICS



	2021年度 月次POS前年比												2022年度 月次POS前年比						累計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4~9月
書籍	120.9	102.2	90.9	97.6	90.4	94.0	96.4	95.7	96.8	94.5	88.7	92.3	92.6	95.2	90.4	93.7	96.8	93.2	93.7
雑誌	105.4	95.0	97.6	94.9	89.2	94.1	90.9	91.5	93.4	95.1	91.8	96.9	97.3	98.7	94.5	93.9	98.7	91.8	95.7
コミック	103.9	83.0	100.2	86.7	100.0	103.6	79.4	69.3	66.7	70.8	64.1	77.2	91.4	84.7	75.9	85.7	91.6	73.6	83.7
MM	116.5	89.6	83.7	93.8	94.6	83.9	69.9	91.9	73.0	93.6	77.9	82.9	95.6	91.1	87.6	89.8	95.3	90.2	91.7
総合	113.5	95.7	94.1	94.6	92.1	95.4	90.3	89.3	87.8	89.3	83.5	89.9	93.5	93.7	88.2	92.1	96.1	88.8	92.1

市況の推移

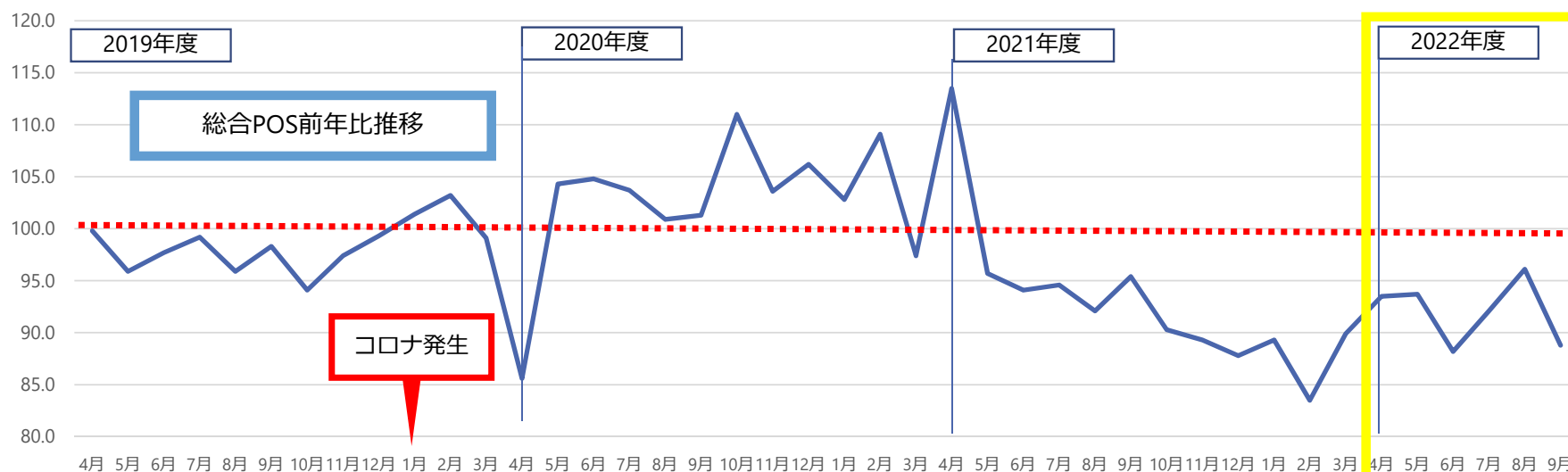
5

① 単体決算

② 連結決算

③ 計算書類

④ TOPICS



(%)

	2021年度 月次POS前年比												2022年度 月次POS前年比						累計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4~9月
書籍	120.9	102.2	90.9	97.6	90.4	94.0	96.4	95.7	96.8	94.5	88.7	92.3	92.6	95.2	90.4	93.7	96.8	93.2	93.7
雑誌	105.4	95.0	97.6	94.9	89.2	94.1	90.9	91.5	93.4	95.1	91.8	96.9	97.3	98.7	94.5	93.9	98.7	91.8	95.7
コミック	103.9	83.0	100.2	86.7	100.0	103.6	79.4	69.3	66.7	70.8	64.1	77.2	91.4	84.7	75.9	85.7	91.6	73.6	83.7
MM	116.5	89.6	83.7	93.8	94.6	83.9	69.9	91.9	73.0	93.6	77.9	82.9	95.6	91.1	87.6	89.8	95.3	90.2	91.7
総合	113.5	95.7	94.1	94.6	92.1	95.4	90.3	89.3	87.8	89.3	83.5	89.9	93.5	93.7	88.2	92.1	96.1	88.8	92.1

① 単体決算

●減益要因②・・・返品調整の変動による利益見通しの下振れ

- ・ 決算日前3か月分の送品額と過去の平均返品率から、返品見込み額を認識
- ・ 返金負債 返品見込み額をB/S負債の部に計上
- ・ 返品資産 返金負債に対応する売上原価分をB/S資産の部に計上
- ・ P/L上の処理 前期末B/S計上額との差額を当期P/L上に反映



- ・ 第2四半期の送品・返品実績により、返品調整金の戻入が計画に比して約2億円減少。

③ 計算書類

④ TOPICS

販売費及び一般管理費

7

① 単体決算

●経費の伸長率が売上高・売上総利益の伸長率を上回る。

(百万円・%)

② 連結決算

③ 計算書類

④ TOPICS

勘定科目	当中間期	前中間期	前年差額	前年比	備考
販売費及び一般管理費	21,395	21,712	▲316	98.5	
販売費	11,775	12,120	▲345	97.1	
運賃	11,097	11,624	▲526	95.4	送品運賃95.6% 業務委託料95.4%
荷造費	650	662	▲12	98.1	段ボールケース代101.6%（価格改定） EC梱包材資材86.9%（EC売上減少）
一般管理費	9,620	9,591	29	100.3	
出版流通事業分	8,734	8,970	▲235	97.3	人件費96.5%、租税公課119.8%（新本社取得）、光熱費118.7%（電気料金改定）
不動産・新規事業分	886	621	265	142.6	租税公課268.8%（再開発完成物件取得）

① 単体決算

② 連結決算

③ 計算書類

④ TOPICS

● 送品金額および送品運賃（kg当り単価）の推移



① 単体決算

② 連結決算

③ 計算書類

④ TOPICS

● 送品金額および送品運賃（総額）の推移



① 単体決算

●基本方針：全出版社に同じ内容で要請

【雑誌】超過運賃負担金 制度改定のお願い 2020年6月～

基準運賃の改定（15.50円→35.33円）

641社中、**412社から協力の回答**……………2022年3月末日より+20社

② 連結決算

【書籍】物流・運賃協力金のお願い 2020年10月～

判型別協力金（大判8円、普通判5.5円、文庫3.5円）

1,580社中、**1,072社から協力の回答**………2022年3月末日より+21社

③ 計算書類

④ TOPICS

➡ **公平を期し、未回答社と協議を継続**

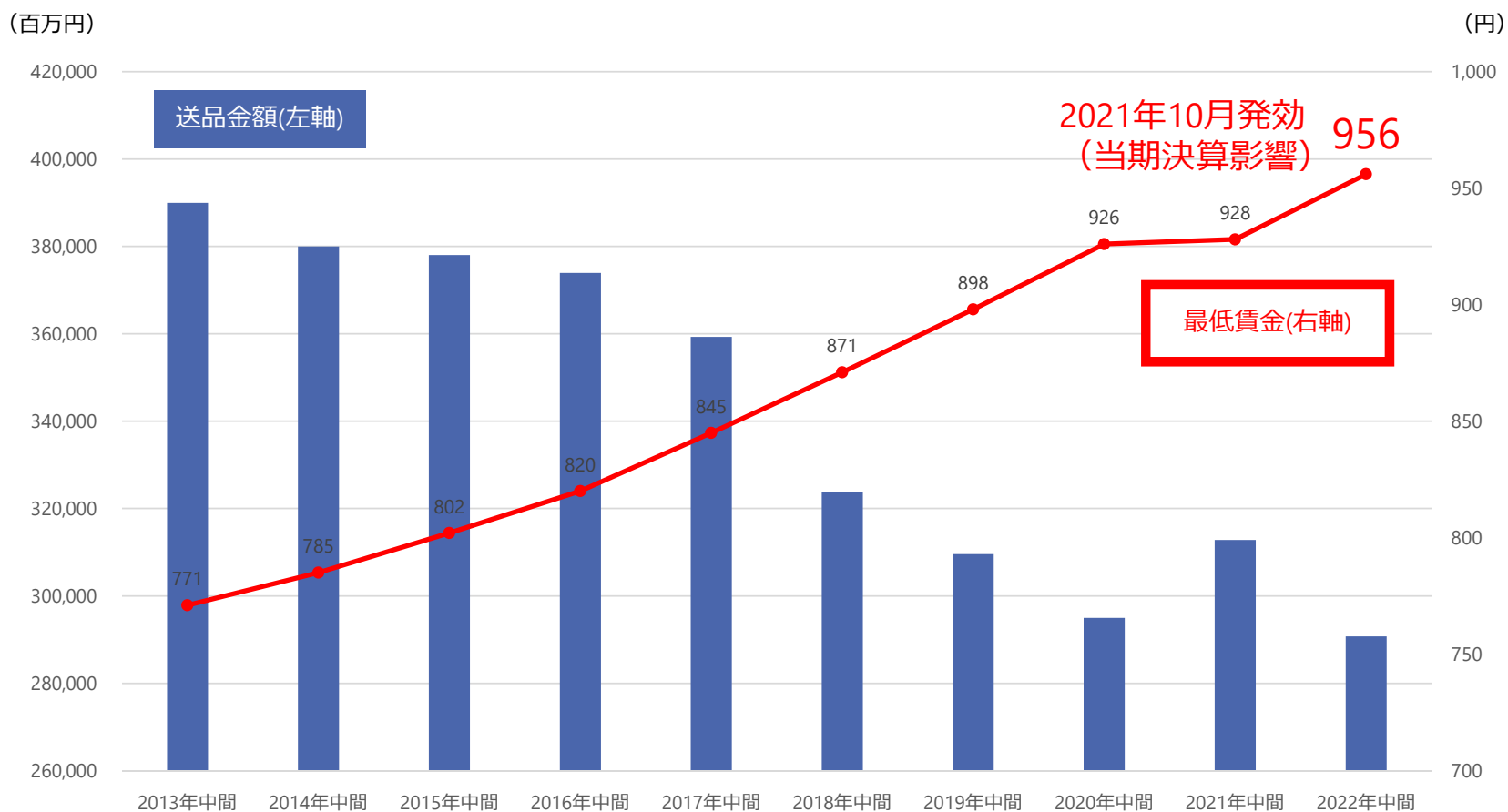
① 単体決算

② 連結決算

③ 計算書類

④ TOPICS

● 送品金額および最低賃金（埼玉県）の推移



① 単体決算

② 連結決算

③ 計算書類

④ TOPICS

● 送品金額および送品業務委託料の推移



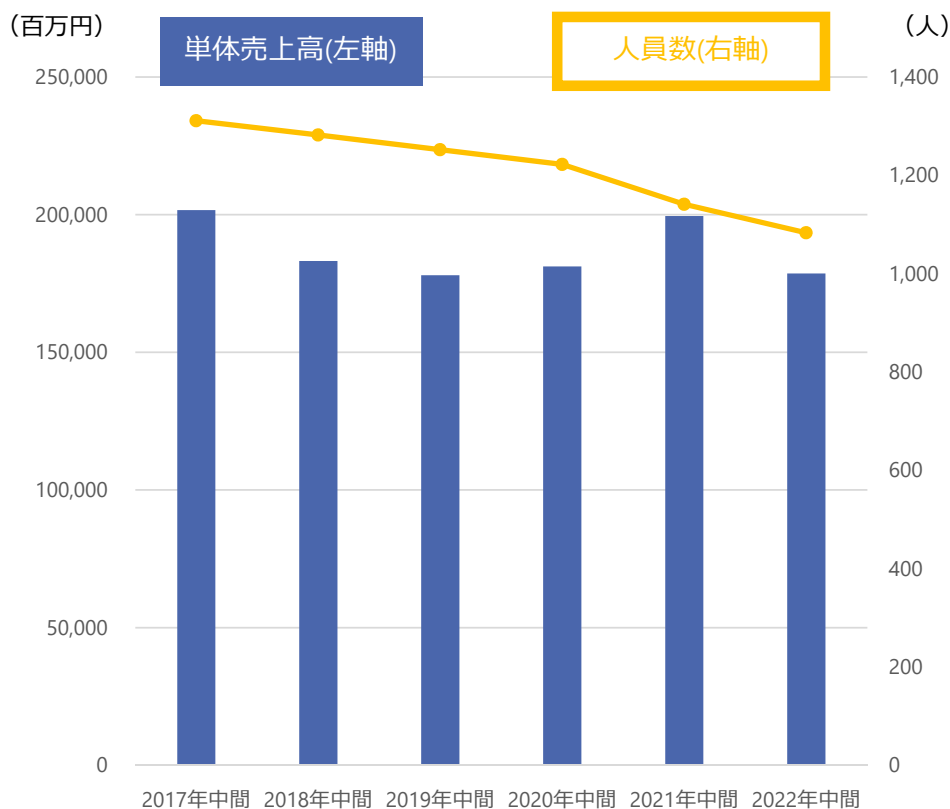
① 単体決算

② 連結決算

③ 計算書類

④ TOPICS

● 職員人件費 前年比96.5%



● 租税公課の一時的増加

- ・ 不動産取得税 + 202,257千円
(物件)
新本社ビル
旧五軒町駐車場 (マンション)
旧名古屋支店 (ビジネスホテル)
博多駅前社有地 (オフィスビル)
旧東北支店 (マンション)
旧四国支店 (ビジネスホテル)

● 水道光熱費 前年比118.7%

- ・ 電気料 + 45,148千円

● その他管理費 新規事業投資

- ・ HAKADORU大森店 + 5,606千円

1 単体決算

2 連結決算

3 計算書類

4 TOPICS

●旧支店含む不動産活用に伴う損益などを計上。

(百万円・%)

勘定科目	当中間期	前中間期	前年差額	前年比	備考
特別利益	41	73	▲32	56.7	
固定資産売却益	40	-	40	-	旧広島支店
投資有価証券売却益	-	59	▲59	-	
. . .	. . .	. . .	. . .		
特別損失	183	704	▲521	26.0	
固定資産除却損	97	484	▲386	20.1	旧本社、旧大阪支店
関係会社事業損失引当金繰入額	37	-	37	-	出版QRセンター(2022年8月解散)
関係会社株式評価損	-	196	▲196	-	
. . .	. . .	. . .	. . .		

2022年度 連結中間決算

TOHAN

① 単体決算

●書店系 10社

岩瀬書店、岩瀬ブックサービス、スーパーブックス、ティーブックセラーズ、明屋書店、ブックス・トキワ、ブックファースト、文真堂書店、山下書店、らくだ

② 連結決算

●物流系 4社

出版QRセンター、東販自動車、トーハンロジテックス、ブックライナー

③ 計算書類

●その他（卸売/メーカー他） 12社

協和出版販売、きんぶん図書、ティー・アンド・ジー、デルフォニックス、東販リーシング、トーハン・インターメディア、トーハン・コンサルティング、トーハン・コンピュータ・サービス、トーハン・メディア・ウェイブ、トーハン・メディア・ホールディングス、マリモクラフト、メディア・パル

④ TOPICS

●持分法適用会社 10社

ETS、勝木書店、金海堂、三洋堂書店、三洋堂ホールディングス、総合教育センター、デジタルパブリッシングサービス、東京堂、日本出版貿易、八重洲ブックセンター

（五十音順）

●単体決算および書店マーケット状況を反映し、減収減益。

(百万円・%)

勘定科目	当中間期	前中間期	前年差額	前年比
売上高	191,383	213,041	▲21,657	89.8
売上総利益	28,886	31,077	▲2,191	92.9
販売費及び一般管理費	29,629	29,951	▲321	98.9
営業利益	▲743	1,126	▲1,869	-
経常利益	▲641	1,119	▲1,761	-
親会社株主に帰属する中間純利益	▲957	478	▲1,435	-

	当中間期連結対象	前中間期	増減内訳
連結子会社	26社	27社	▲1社（アバンティブックセンター）
持分法適用会社	10社	11社	▲1社（廣文館）

1 単体決算

2 連結決算

3 計算書類

4 TOPICS

事業セグメント別経常損益

18

① 単体決算

- 書店系・・・売上減少、人件費・光熱費等の上昇が影響
- 物流系・・・出版QRセンターは2022年5月で事業を終了
- その他・・・マリモクラフトのキャラクター事業が好調

(百万円)

当中間期	経常利益	出版流通事業	不動産事業	新規事業	持分法損益
トーハン	▲550	▲1,258	755	▲48	-
書店系10社	▲126	▲208	81	-	-
物流系4社	52	50	2	-	-
その他12社	346	294	51	-	-
連結調整額	▲363	▲201	▲73	-	▲88
合計	▲641	▲1,323	818	▲48	▲88

(百万円)

前中間期	経常利益	出版流通事業	不動産事業	新規事業	持分法損益
トーハン	952	368	617	▲33	-
書店系11社	356	273	84	▲0	-
物流系4社	157	149	7	-	-
その他12社	▲38	▲83	45	-	-
連結調整額	▲308	▲111	▲128	▲0	▲68
合計	1,119	596	626	▲34	▲68

copyright © 2022 TOHAN corporation

② 連結決算

③ 計算書類

④ TOPICS

① 単体決算

- 各社とも新規出店には至らず
- 7社中、最終赤字4社、黒字3社（前中間期 8社中 赤字4・黒字4）

② 連結決算

③ 計算書類

④ TOPICS

（百万円・％）

法人名	中間期末店舗数		売上高	前年比	備考
		期中増減			
ブックファースト	66	▲3	7,700	107.7	2021年7月 パンティBC事業譲受
明屋書店	79	-	6,425	90.7	
スーパーBOOKS	52	▲7	4,081	87.1	
文真堂書店	26	-	2,088	80.8	
らくだ	16	-	1,540	87.9	
岩瀬書店	6	-	1,308	93.9	
ティーブックセラーズ	4	-	406	89.4	
計	249	▲10	23,552	90.2	

① 単体決算

② 連結決算

③ 計算書類

④ TOPICS

- マリモクラフトは、商品開発力・ライセンサーとの関係に強み

(百万円・%)

法人名	売上高	前年比	備考
マリモクラフト	3,368	111.9	マ社増収増益

- 書店ルート限定企画

- ・『ちいかわ書店』 2022年3月～ 333書店で展開
消化率92.2%
- ・映画『TANG』グッズ 2022年7月～ 215書店で展開
消化率90.0%

- その他チャネルも販売増加（マ社1～3Q累計）

- ・店舗販売 前年比119%
- ・催事(ポップアップ)販売 前年比143%
- ・EC 前年比102% ※22年4月コロナ行動制限解除後、店舗販売に拍車



2022年度 中間決算 計算書類

TOHAN

貸 借 対 照 表

2022年 9月 30日 現在

【第76期】

(単位:百万円)

科目	金額	増減額	科目	金額	増減額
資産の部	298,467	-5,763	負債の部	202,930	-2,944
流動資産	208,278	-2,097	流動負債	182,468	-2,014
現金・預金	30,842	-2,155	支払手形	852	-197
電子記録債権	2,226	-231	電子記録債務	5,122	-1,483
売掛金	95,836	-2,638	買掛金	119,486	11
有価証券・短期金融資産	18,540	5,167	短期借入金	1,600	0
たな卸資産	14,357	-638	1年以内返済長期借入金	492	492
関係会社貸付金	5,066	-34	未払金・未払費用	7,715	-321
返品資産	40,823	-1,197	賞与引当金	528	0
その他の流動資産	3,350	-201	返金負債	44,232	-1,507
貸倒引当金	-2,765	-165	その他の流動負債	2,437	992
			固定負債	20,462	-930
固定資産	90,188	-3,665	長期借入金	12,686	-713
有形固定資産	49,596	-908	退職給付引当金	4,238	0
建物・設備等	29,920	-546	繰延税金負債	952	-243
土地	19,676	-361	その他の固定負債	2,585	27
無形固定資産	3,955	171			
投資その他の資産	36,636	-2,929	純資産の部	95,536	-2,818
投資有価証券	22,007	-2,882	株主資本	93,817	-2,917
長期未収金	1,726	-34	資本金	4,500	0
その他の投資等	15,123	-18	資本剰余金	1,130	0
貸倒引当金	-2,221	6	利益剰余金	88,258	-2,902
			利益準備金	1,125	0
			その他利益剰余金	87,133	-2,902
			自己株式	-70	-14
			評価・換算差額等	1,718	98
			その他有価証券評価差額金	1,718	98
合計	298,467	-5,763	合計	298,467	-5,763

損 益 計 算 書

自 2022年 4月 1日

至 2022年 9月 30日

(単位:百万円・%)

科目	金額	前年比
売上高	178,673	89.5
売上原価	158,239	89.2
売上利益	20,434	91.9
販売費及び一般管理費	21,395	98.5
営業利益	-961	-
営業外収益	437	92.3
受取利息	82	91.5
雑益	354	92.4
営業外費用	26	113.4
支払利息	23	99.8
その他営業外費用	3	1608.7
経常利益	-550	-
特別利益	41	56.7
特別損失	183	26.0
税引前中間純利益	-692	-
法人税、住民税等	-71	-
中間純利益	-620	-

売 上 高 内 訳

(単位:百万円・%)

種別	売上高	増減額	前年比	返品率	前年差
書籍	75,173	-11,059	87.1	40.5	3.3
雑誌	52,612	-4,455	92.1	48.7	0.2
コミック	24,747	-3,356	88.0	25.0	2.1
MM商品	21,288	-682	96.8	25.2	3.6
合計	173,822	-19,553	89.8	40.2	2.1

株式会社 トーハン

連 結 貸 借 対 照 表

2022年 9月 30日現在

【第76期】

(単位:百万円)

科目	金額	増減額	科目	金額	増減額
資産の部	322,475	-6,769	負債の部	224,895	-3,264
流動資産	223,930	-2,586	流動負債	197,387	-2,852
現金・預金	37,651	-3,180	支払手形	1,161	-392
受取手形	62	-21	電子記録債務	5,122	-1,483
電子記録債権	2,226	-231	買掛金	122,113	288
売掛金	85,765	-1,270	短期借入金	11,176	-468
有価証券・短期金融資産	18,540	5,167	未払金・未払費用	7,648	-438
たな卸資産	33,693	-726	諸引当金	783	-73
返品資産	41,788	-1,142	返金負債	45,234	-1,455
その他の流動資産	6,975	-1,035	その他の流動負債	4,145	1,169
貸倒引当金	-2,774	-145			
			固定負債	27,507	-411
固定資産	98,545	-4,183	長期借入金	17,192	-33
有形固定資産	60,948	-989	退職給付に係る負債	4,665	222
建物・設備等	34,821	-627	その他の固定負債	5,649	-600
土地	26,126	-361			
無形固定資産	4,409	-26	純資産の部	97,580	-3,504
投資その他の資産	33,187	-3,167	株主資本	95,126	-3,380
投資有価証券	28,126	-3,134	資本金	4,500	0
繰延税金資産	127	-63	資本剰余金	1,280	0
その他の投資等	7,152	6	利益剰余金	89,430	-3,365
貸倒引当金	-2,219	23	利益準備金	1,270	-2
			その他利益剰余金	88,160	-3,363
			自己株式	-84	-14
			その他の包括利益累計額	1,857	-126
			その他有価証券評価差額金	1,852	81
			退職給付に係る調整累計額	5	-207
			非支配株主持分	595	2
合計	322,475	-6,769	合計	322,475	-6,769

連 結 損 益 計 算 書

自 2022年 4月 1日

至 2022年 9月 30日

(単位:百万円・%)

科目	金額	前年比
売上高	191,383	89.8
売上原価	162,497	89.3
売上総利益	28,886	92.9
販売費及び一般管理費	29,629	98.9
営業利益	-743	-
営業外収益	316	106.9
受取利息	77	91.0
その他の営業外収益	239	113.2
営業外費用	214	70.8
支払利息	57	90.7
その他の営業外費用	156	65.6
経常利益	-641	-
特別利益	50	36.6
特別損失	242	40.0
税引前中間純利益	-833	-
法人税、住民税等	115	74.1
中間純利益	-949	-
非支配株主に帰属する中間純利益	8	46.2
親会社株主に帰属する中間純利益	-957	-

株式会社 トーハン

TOPICS

TOHAN

● enCONTACT 運用スタート

✓ マーケットイン型出版流通の要 ～事前申込・仕入・配本・販売の連動～



① 単体決算

② 連結決算

③ 計算書類

④ TOPICS

① 単体決算

●enCONTACT 主要機能

・書店向けWebシステム

近刊事前申込・・・発売前商品の入荷希望数を、出版社・トーハンへ通知

対象① 出版社がJPROに事前申込可能と登録した銘柄

対象② トーハン新刊申込施策「一気通巻」等の対応銘柄

入荷予定確認・・・自店への新刊配本の入荷予定銘柄、部数の確認

② 連結決算

・出版社向けWebシステム

搬入受付・・・・・・・・トーハンへの商品搬入連絡

基本的な書誌情報はJPROデータから自動入力

部決・・・・・・・・新刊部数や諸条件に関する商談もWeb上で完結

商談時、書店の事前申込数も出版社とトーハンで共有

③ 計算書類

●運用拡大スケジュール

- | | | |
|----------|-----------|--------------------------|
| ・ 10月27日 | 出版社システム稼働 | マーケットイン型販売契約 ご契約出版社(14社) |
| ・ 10月31日 | 書店システム稼働 | トーハングループ書店約300口座 |
| ・ 11月～ | 出版社利用拡大 | 新刊ライン利用の約1,500社へ |
| ・ 23年1月～ | 書店利用拡大 | お取引書店へ順次サービス提供 |

④ TOPICS

マーケットイン型流通の実現に向けて

27

●丸善ジュンク堂書店・大日本印刷との3社協業

- ・桶川書籍流通センターの運用開始（10月1日）
- ・マーケットイン型販売契約への丸善ジュンク堂書店参画（4Q～2023年度開始予定）
- ・12月1日より丸善ジュンク堂書店32店舗の取引が弊社へ変更（全105店舗）

NEWS RELEASE

TOHAN

MARUZEN JUNKUDO

2022年10月14日

トーハンと丸善ジュンク堂書店、
出版流通改革の共同プロジェクトを開始

株式会社トーハン
株式会社丸善ジュンク堂書店

このたび株式会社トーハンと株式会社丸善ジュンク堂書店は、出版流通改革の共同プロジェクトを開始致します。本プロジェクトでは読みたい本を読みたい時に確実に買える環境を構築し、読者の利便性を高めることで書店の収益改善を目指して参ります。

■具体的な取り組み内容

（1）商品供給インフラの整備

2022年10月から桶川書籍流通センター（桶川SRC）の運用を開始し、読者需要に応じたタイムリーな商品供給を実現します。
元日を除く年間364日出荷体制。出版社倉庫とのEDI連携、PODを活用した製造供給体制を組み合わせ、読者のあらゆる注文に応えられる供給インフラの整備に取り組みます。

（2）書店の粗利益率改善

トーハンと出版社が協力して進めている「マーケットイン型販売契約」について、丸善ジュンク堂書店で本格運用を開始します。本施策は読者需要に応じて書店が意思を持って仕入れ、売り伸ばしていくもので、出版社が負う返品リスクを低減し、書店の粗利益率の改善を図ります。

（3）書店の管理コスト削減

書店事業に伴う管理業務全般について、取次との業務の集約や人材交流、システム化などを実施し、業務合理化による管理コストの圧縮を目指します。

トップページ HOME	経営理念・沿革 Philosophy・History	会社概要 Company	店舗サービス Service	採用情報 Recruit
----------------	-------------------------------	-----------------	-------------------	-----------------

お知らせ

HOME > お知らせ > お知らせ > 丸善ジュンク堂書店とトーハン、出版流通改革の共同プロジェクトを開始

カテゴリー

- お知らせ
- 店舗
- イベント

年別アーカイブ

- 2022年
- 2021年
- 2020年
- 2019年
- 2018年
- 2017年

丸善ジュンク堂書店とトーハン、出版流通改革の共同プロジェクトを開始

投稿日：2022年10月14日 | 最終更新日時：2022年10月13日 | カテゴリー： [お知らせ](#)

丸善ジュンク堂書店とトーハン、
出版流通改革の共同プロジェクトを開始

株式会社丸善ジュンク堂書店
株式会社トーハン

このたび株式会社丸善ジュンク堂書店と株式会社トーハンは、出版流通改革の共同プロジェクトを開始致します。本プロジェクトでは読みたい本を読みたい時に確実に買える環境を構築し、読者の利便性を高めることで書店の収益改善を目指して参ります。

具体的な取り組み内容

（1）商品供給インフラの整備

2022年10月から桶川書籍流通センター（桶川SRC）の運用を開始し、読者需要に応じたタイムリーな商品供給を実現します。
元日を除く年間364日出荷体制。出版社倉庫とのEDI連携、PODを活用した製造供給体制を組み合わせ、読者のあらゆる注文に応えられる供給インフラの整備に取り組みます。

① 単体決算

② 連結決算

③ 計算書類

④ TOPICS